



2017年4月28日

各位

会社名 株式会社りそなホールディングス
代表者名 取締役兼代表執行役社長 東 和浩
(コード番号 8308 東証第一部)

業績目標の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2016年11月11日に公表した業績目標を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績目標の修正について

2017年3月期 通期連結業績目標数値の修正 (2016年4月1日～2017年3月31日) (金額の単位：億円)

	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表目標 (A) (2016年11月11日公表)	1,700	70円56銭
今回発表目標 (B)	1,610	66円69銭
増減額 (B-A)	△90	—
増減率 (%)	△5.2	—
ご参考:前期実績※1	1,838	89円71銭

※1 2016年3月期

2. 業績目標修正の理由

変動性の高い市場環境の中、当社グループ銀行において、金融商品販売や債券売買益の積上げが想定を下回る水準で推移したことを主因とし、実質業務純益が目標を下回る見込みとなったことから、前回発表目標比で下方修正するものです。

なお、詳細につきましては、決算発表時にお知らせいたします。

【ご参考】

(1) 2017年3月期 グループ銀行合算の通期業績目標

- グループ銀行合算の実質業務純益は、金融商品販売や債券売買益の積上げが想定を下回る水準で推移したこと等から、前回発表目標比△335億円の1,905億円となる見込みです。
- また、グループ銀行合算の税引前当期利益は、与信費用の発生が低水準で戻入益(前回発表目標比+235億円)を計上した一方で、実質業務純益の減益に加え、株式等関係損益の積上げが想定を下回ったこと(前回発表目標比△55億円)等により、前回発表目標比△145億円の2,015億円となる見込みです。
- 以上により、グループ銀行合算の税引後当期純利益は、前回発表目標比△100億円の1,435億円となる見込みです。

(金額の単位：億円)

	グループ銀行					
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	合算(概算)	前回発表目標比	前年比
業務粗利益	3,520	1,220	430	5,175	△350	△545
経費	△2,145	△750	△375	△3,270	+15	△7
実質業務純益 ^(注)	1,375	470	55	1,905	△335	△551
税引“前”当期純利益	1,425	495	95	2,015	△145	△192
税引後当期純利益	1,010	345	75	1,435	△100	△198
株式等関係損益(先物込)	△5	25	10	30	△55	+48
与信費用総額	145	5	25	180	+235	+414

(注)「実質業務純益」は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(2) 金融再生法基準開示債権(グループ銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

(銀信合算)	2017年3月末	2016年3月末	増減
開示債権 計 (A)	3,954	4,349	△395
破産更生債権等	636	777	△140
危険債権	2,351	2,481	△129
要管理債権	966	1,091	△125
正常債権	287,925	282,633	+5,292
総与信 (B)	291,880	286,983	+4,897
不良債権比率 (A)/(B)	1.35%	1.51%	△0.16%

(3) その他有価証券の評価差額(グループ銀行合算)の見込

(金額の単位：億円)

	2017年3月末		2016年3月末		増減	
	貸借対照表計上額	評価差額	貸借対照表計上額	評価差額	貸借対照表計上額	評価差額
その他有価証券 ^(注)	29,587	5,554	29,199	4,601	+387	+952
債券	14,291	△26	16,965	146	△2,674	△173
株式	9,116	5,632	7,979	4,464	+1,137	+1,168
その他	6,179	△52	4,254	△8	+1,924	△43

(注) 時価のある有価証券のみを対象として記載しております。なお、「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております

以上